

協働通信

1月31日にまちづくり交流センター1階交流室にて、異世代間交流を目的とした「ふれあいお楽しみ会」が開催されました。今回は、「ふれあいお楽しみ会」を企画・実践しました都留文科大学生の平井万裕さん(1年・社会学科)と近藤亜々駆さん(1年・社会学科)にお話を伺いました。



■左から平井さん、近藤さん

◆「ふれあいお楽しみ会」を開催しようと思った経緯は何でしょうか？

平井さん…「プロジェクト研究II」という授業の一環で今回のイベントを開催したのですが、高校生の頃から子どもやお年寄りとおふれあうのが好きで、異世代間交流に興味がありました。そのようなイベントを企画している学内サークルもあまりなかったで、自分で企画してみようと思いました。

近藤さん…僕も高校生の頃に課外活動のなかで子どもたちと関わる機会が多く、

子どもとおふれあえるようなイベントをやりたいと思っていった時に、平井さんの企画を知りました。もともとイベントを企画するのが好きだったので、僕も一緒にやりたいと思いました。

◆開催してみた感想をお聞かせください。

平井さん…授業の合間に時間調整をしながら「鶴寿大学※」や市内の小学校へ赴いて何度かイベントの告知をしたり、プログラムを考えたりするのが大変でした。でも、当日は初対面同士の参加者が一緒に楽しくて楽しんでくれてすごうれしかったです。

近藤さん…シニア世代の参加者が多いことを想定して準備をしていたのですが、実際は子どもたちの方が多くて、少し焦りました。でも、開催後に参加者の皆さんからいただいたアンケートには、「楽しかった」や「またやってほしい」などと言われていたので、うれしかったです。

◆これから挑戦してみたいことはありますか？

平井さん…私は福祉系の分野に興味があるので、「鶴寿大学」等と連携して、シニア世代の方とおふれあいを増やせるようなイベントを企画したいです。

近藤さん…僕は高校の頃からずっと環境について学んでいるので、環境をテーマにしたイベントに興味があります。

※「鶴寿大学」：都留市在住で概ね60歳以上の方を対象に、健康で、はつらつと

▽都留市まちづくり市民活動支援センター
都留市中央3-8-1
都留市まちづくり交流センター
(旧文化会館)1階
▽開館
火～日(祝日除)
8:30～17:15
▽問い合わせ先
mail: shien@city.tsuru.yamanashi.jp
☎(43)1321
FAX(43)1322

した鶴寿を目指し、学び、仲間の輪を広げながら地域活性化のために活動していただく方を育てるために、市が開校している市民のための大学です。



■参加者の皆さんとクイズやビンゴなどのレクリエーションを楽しみました。

地域協働のまちづくり推進会からのお知らせ

「無事・安全確認の白色タオル運動」を広めましょう！

私たちが住む地域において、災害時に白色のタオルを活用し迅速な安全確認を行うことを、昨年9月に市に提言したところ、市はこの趣旨に賛同し、全市的に推進・普及を図ることになりました。関係団体の皆さまや地域の皆さまのご協力をお願いします。



■災害時、この家には救助を必要とする人はいないことを示すために、玄関や門扉など外から一目でわかる場所に白いタオルを結びつける運動です。

3年目を迎える地域交流研究センターサテライト



■都留文科大 地域交流研究センター 職員 佐藤理恵。平成26年5月号から今年4月号までの1年間、「協働通信」を担当させていただきます。

都留文科大 地域交流研究センターのサテライト(分室)がまちづくり交流センターに設立されてから、4年で3年目を迎えます。サテライトは地域の方々に大学をより身近に感じてもらうことや、大学と市民との交流促進を図ることを目的として設置されました。

まちづくり交流センターでは「みんなの広場」と題して、暮らしに役立つミニ講座を定期的で開催しています。毎回、ボランティア講師による特技や趣味を活かした多彩な講座を開設しており、都留文科大から「サークル」あまつがせや「フィールド・ノート編集部」のメンバーにも講師として協力してもらったり、学生との連携事業に積極的に取り組んでいます。昨年度を振り返ると学生や地域の方々とお話をする機会も多く、素敵な活動をされている方々との出会いが印象的な1年でした。

大学と地域をつなぐ架け橋として、サテライトの存在は少しずつですが浸透しつつあるように感じます。今後さらにサテライトが活用され、活気あふれるまちづくりに貢献できればと思います。

地域のお知らせ

谷村地域

夢実現ひろば

山梨県自然記念物指定 曹洞宗 宝鏡寺

寺の境内でヤマブキノソウと羅漢の見学
日時 4月23日(木)13時～15時30分
集合場所・問合先 まちづくり交流センター